

授業科目名	漢文学入門(2100132)		
時間割名	漢文学入門(34104)		
時間割担当	山田明広		
実施期	前期	単位数	2 選択
曜日・時限	水・4		

授業の目標・概要

漢文資料を訓読の方法で読み、意味を理解するための基礎力を身につける。と同時に、漢文学習に有効な工具類の使用法を指導し、自分で調べながら読解を進めることができるようにする。親しみやすい内容を持つ小説をテキストに用いて、文章に即して語彙や語法の解説をすすめる。ゆるやかなペースでじっくり学び、返り点のついた漢文を独力で読むための基礎学力を養成する。受講生は漢字についても理解を深め、漢文を読むために必要な基本的な事項を習得する。

学習の到達目標

本講義は次の三つを目標とする。第一に漢字の知識を増やす、第二に漢文訓読の基礎的知識を身につける、第三に短い漢文の文章が訓読でき、内容が理解できるようになることである。

授業方法・形式

テキストをもとに講義を行う。受講生は、第一回目に指示するノートの取り方に従って、教員の伝える漢文についての情報を書き留めなければならない。

授業計画

- 第1回 オリエンテーション 授業の到達目標、進め方、授業計画、評価の仕方を理解する。
漢文のノートの取り方、予習の仕方について学習する。
- 第2回 漢字及び漢和辞典について 漢字を発明した蒼頡の伝説、甲骨文字、金石文、六書について理解を深め、漢字の成り立ちと漢字の造字法を学ぶ。あわせて、漢和辞典の検索法を学ぶ。
- 第3回 漢文の語法の学習のための参考図書について 二豊庵主人(加地伸行)『漢文法基礎』(講談社)、西田太一郎『新訂漢文法要説』(朋友書店)など漢文法の学習に必須の図書の特色と利用法を学ぶ。
- 第4回 訓読の基礎 授業の前半は、返り点とその打ち方、送り仮名とその付け方、置き字について学ぶ。唐代の小説について 授業の後半は、唐代の小説の特色、文学史上の位置づけについて学ぶ。
- 第5回 『続玄怪録』「定婚店」(1)「杜陵韋固」から「有老人倚布?、坐於階上、向月?書」までの内容を訓読と現代日本語訳により理解する。「再読文字」に焦点を当てて、漢文法を学ぶ。
- 第6回 『続玄怪録』「定婚店」(2)「固歩説之」から「曰、天下婚牖耳」までの内容を訓読と現代日本語訳により理解する。「否定」・「則」に焦点を当てて、漢文法を学ぶ。
- 第7回 『続玄怪録』「定婚店」(3)「固喜曰」から「及明、所期不至」までの内容を訓読と現代日本語訳により理解する。「累加」・「限定」に焦点を当てて、漢文法を学ぶ。
- 第8回 『続玄怪録』「定婚店」(4)「老人卷書」から「老人遂隱」までの内容を訓読と現代日本語訳により理解する。「疑問」・「反語」に焦点を当てて、漢文法を学ぶ。
- 第9回 確認チェックテスト 授業の前半は、第4回から第8回までの理解度を問う漢文テストを実施。授業の後半は、漢字を利用したグラフィックアートを教材に、漢字の絵画性について理解を深める。
- 第10回 『続玄怪録』「定婚店」(5)「固罵曰」から「不幸才中眉間」までの内容を訓読と現代日本語訳により理解する。「仮定」・「能」に焦点を当てて、漢文法を学ぶ。

成績評価の基準

- (授業計画の続き)
- 第11回 『続玄怪録』「定婚店」(6)「爾後固?求婚」から「不幸才中眉間」までの内容を訓読と現代日本語訳により理解する。「如」・「於」に焦点を当てて、漢文法を学ぶ。
 - 第12回 『続玄怪録』「定婚店」(7)「歳餘」から「定婚店」までの内容を訓読と現代日本語訳により理解する。「受身」に焦点を当てて、漢文法を学ぶ。唐代の小説技法について理解を深める。
 - 第13回 『本事詩』「崔護」(1)「博陵崔護」から「桃花依舊笑春風」までの内容を訓読と現代日本語訳により理解する。絶句の構造、押韻、平仄について学ぶ。
 - 第14回 『本事詩』「崔護」(2)「後數日」から「遂以女歸之」までの内容を訓読と現代日本語訳により理解する。詩を含んだ物語について理解を深める。
 - 第15回 総復習 学期末テストの実施要項を確認し、復習の仕方を説明する。質疑応答によって、学習した内容についての理解をさらに深め、学期末テストの準備とする。

(成績評価の基準)
毎回の授業でワークシートを提出。授業の理解度を問う(30%)。学期途中に確認チェックテストを実施し、セメスター前半の理解度を問う(20%)。セメスター後半の授業内容の理解度と、総合的な漢文読解能力を問う(50%)。出席回数が授業全体の2/3未満である場合には不可0点とする。

準備学習・復習及び授

- 予習：教材のうち白文をノートに書き込んでおく。書き下し文や日本語訳も事前に書き込んでおくのがのぞましい。
復習：毎回の授業終了後、ノートを読み直す。声に出して読むのがのぞましい。

履修上のアドバイス及

古典文法を修得していることがのぞまれる。

教材・教科書

テキストは配布プリントを使用。

参考書

竹田晃・黒田真美子『中国古典小説選』1巻～12巻（明治書院）、今村与志雄『唐宋伝奇集』上巻・下巻（岩波文庫）